

大学・地域連携事業報告会

子どもたちと再発見する多摩区の生物多様性
-たくさんの生きものと共にくらせる街にするために-

明治大学

1. 子どもたちとの生きものの観察会

大学内での3回の観察会

三田まちもり寺子屋の子どもたちと多摩区(明治大学)のいきものに触れ合う

初夏



6/29に花に来る訪花昆虫
やイタドリの葉を食べる
ハムシをみつけた

秋



10/26に花に来る訪花昆虫や
ムクノキの実、枯葉の下の昆
虫をみつけた

早春



3/1にエノキに寄生するヤ
ドリギや芽吹いた植物を
みつけた

触れ合うための仕掛け① — 野草とポリネーターとの関係の再生



- ・ 多摩丘陵の花を大学の法面へ
- ・ ハラナガツチバチ等の訪花昆虫

触れ合うための仕掛け② ― ハチ宿の設置



- ・ 多摩丘陵の花に来たハナバチが卵を産みにくる場所

触れ合うための仕掛け③ — バットハウスの設置



- ・ 昼間にコウモリが休みにくる場所
- ・ 自動撮影カメラ

触れ合うための仕掛け④ — コンポスト、石の設置



- ・ 落ち葉や土の中、石の下のいきもの

観察会でみつけた生きもの — 2024年6月29日

- ・ イタドリの葉を食べるハムシ
- ・ ブタナに来る小さな訪花昆虫
- ・ 研究で使っている水場に泳ぐ
アメンボやオタマジャクシ
- ・ ヨウシュヤマゴボウの葉をきれいに
食べるオオクロハバチの幼虫



観察会でみつけた生きもの — 2024年10月26日

- ・ ヒナバッタ
- ・ オンブバッタ
- ・ オオカマキリ
- ・ コカマキリ
- ・ オオカマキリの卵
- ・ カラスウリ
- ・ エノコログサ
- ・ イネタデ
- ・ キツネノマゴ
- ・ ヤマトシジミ
- ・ ナナホシテントウ
- ・ ガの幼虫
- ・ 赤の二つの斑点のカメムシ
- ・ シャクトリムシ
- ・ コハコベ
- ・ ツチイナゴ
- ・ ササキリ
- ・ コセンダングサ
- ・ ツユクサ、ブタナ、ヒメ
ジョオン
- ・ ゴキブリ
- ・ オカメコオロギ
- ・ ヤズデ
- ・ ミミズ□
- ・ ミズキ
- ・ ナガエコミカンソウ
- ・ クズ
- ・ ハムシ
- ・ ダンゴムシ
- ・ セスジスズメ



観察会でみつけた生きもの ― 2025年3月1日

- ・ コブシの芽や種子
- ・ スギの種子や枯れ葉
- ・ 下から見た草原
- ・ クスノキの種子、芽、葉
- ・ エノコログサの種子
- ・ 芽が出たどんぐり
- ・ 道路に落ちたイロハモミジの種子
- ・ コンテナ池のヤゴのから
- ・ カタバミの葉の毛



・ マットを敷いて木を見上げる



・ 鏡で草原を下から見る

2. 夏の多摩区の生きものの調査

① コウモリ観察会

みた・まちもり寺子屋の子どもたち
と、バットディテクターを用いて



② キリギリスの鳴く土手

応用植物生態学研究室の学生で実施
ひざ丈程度に刈られたチガヤなどの
草原が重要



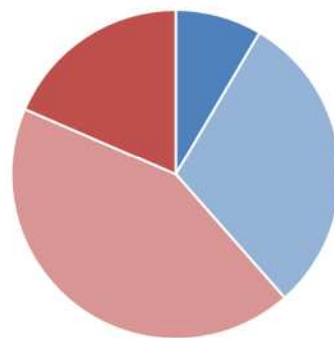
2. 多摩区民へのアンケート調査

- ・ 多摩区に住む200名へ10問の質問

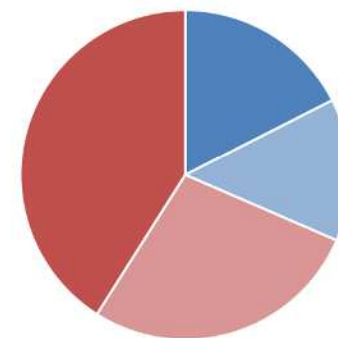
- ・ 多摩区の街にくらす生きものの未来は明るいか？

（明治大学重点研究で実施）

生きものが好き？



生きものを捕まえたことがある？



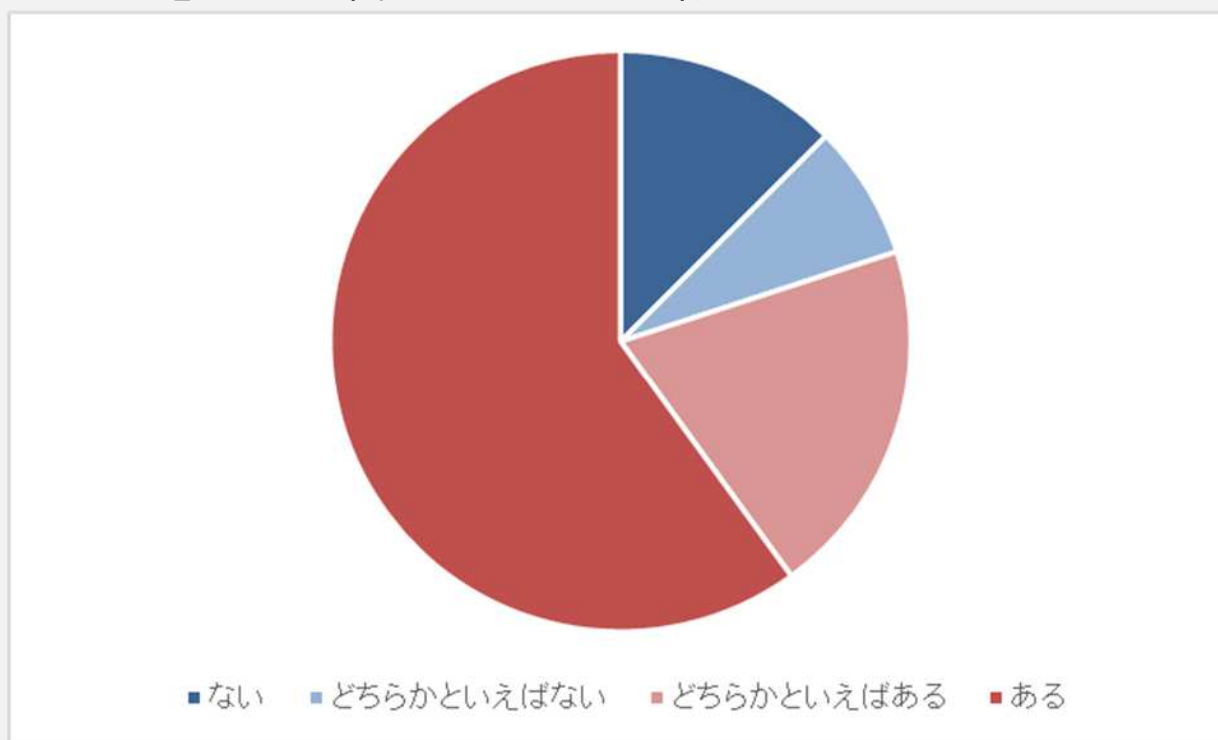
■ はい ■ どちらかといえばはい ■ どちらかといえばいいえ ■ いいえ

2. 多摩区民へのアンケート調査

多くの方が暮らす街中を、昆虫や鳥などの生きものがさらに暮らしやすい場所にするべきだと思いますか？

→「はい」と答えた人の内訳

・生きものを捕まえたことがある人ほど、街中を生きものがさらに暮らしやすい場所にするべきだと考える。



3. リーフレットの作成



- ・多摩区で行ってきた活動を、読みやすいようにして紹介

結論

- ・ 多摩区には子供たちと発見したようないきものがたくさんいる



- ・ 多摩区には豊かな生き物が暮らせるポテンシャルが残っている



- ・ 人間のちょっとした気遣いで多摩区が生きものの豊かな街になる

